

科目ナンバー： MmC3111

授業コード： 6630301300

講義科目名称： 地域母子保健演習

英文科目名称： Seminar of Maternal and Child Health in Community

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、常盤洋子、八巻ちひろ、高林知佳子、野口裕子、鈴木まなみ			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎増澤 祐子	新潟県立看護大学	311	masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	八巻 ちひろ	同上	309	yamaki@niigata-cn.ac.jp
	高林 知佳子	同上	304	ctakabaya@niigata-cn.ac.jp
	野口 裕子	同上	209	yuko@niigata-cn.ac.jp
	鈴木 まなみ	筑紫野市健康福祉部子育て支援課		
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究			
	CNS			
	助産	◎	○	○

到達目標	<p>1. 母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践を説明できる。</p> <p>2. 地域母子保健活動における助産活動やケアシステムの現状と課題について説明できる。</p> <p>3. 地域母子ケアのプログラムの企画・実施・評価に関する理論を説明できる。</p> <p>4. 母子の暮らしを見据えた地域母子ケアを実践するための地域診断・アセスメントについて説明できる。</p> <p>5. 地域における産後ケアの模擬事業を企画・実施し、評価することができる。</p> <p>6. 母子の暮らしを見据えた地域母子保健活動の課題および助産師の役割を考察することができる。</p>
------	--

授業概要	<p>母子の暮らしを見据えた地域母子ケアを実践するための地域診断、アセスメント能力、助産ケアのプログラムの企画・実施・評価に関する理論を学ぶ。地域の特性や母子の健康レベルに応じた母子支援として、地域において実施されている産後ケア事業等の母子保健活動に関する助産活動やケアシステムの現状と課題を理解し、学内で課題解決に向けた産後ケア事業の提案及び健康教育の企画・実施を通して、地域で暮らす産後4か月程度までの母子と家族に対する母子保健活動の課題、臨床から地域への切れ目のない支援を実践するために必要な多職種連携・協働について考察する。</p>
------	--

授業計画	1	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：オリエンテーション 学修内容：地域母子保健演習についてオリエンテーション 事前学修：地域母子保健特論のシラバスと第1回講義内容を確認する（15分） 事後学修：地域母子保健演習の進め方を確認する（15分） 備 考：常盤・増澤</p>
	2	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：地域母子保健活動の現状と課題（1） 学修内容：地域母子保健活動における助産活動の現状と課題(1) 討議 事前学修：上越市の地域母子保健活動における助産活動の現状と課題について調べる（30分） 事後学修：上越市の地域母子保健活動における助産活動の現状と課題について知見を整理する（30分） 備 考：常盤・増澤・八巻</p>
	3	<p>授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：地域母子保健活動の現状と課題（2） 学修内容：地域母子保健活動における助産活動の現状と課題(2) 事前学修：上越市の地域母子保健活動における助産活動の現状と課題について発表資料を作成する（30分） 事後学修：討論を通し、母子保健活動における助産活動の現状と課題について知見を整理する（30分） 備 考：常盤・増澤・八巻</p>
	4	<p>授業内容 授業形態：講義</p>

5	<p>学修課題：こども家庭センターの概要と助産師の活動（1） 学修内容：こども家庭センターにおける母子保健事業と助産師の活動 事前学修：こども家庭センターの設置の経緯、フィンランドのネウボラについて知見を整理する（30分） 事後学修：こども家庭センターの役割について自身の考えをまとめる（30分） 備考：鈴木・常盤・増澤・八巻</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：こども家庭センターにおける助産師の活動（2） 学修内容：筑紫野市こども家庭センターにおける助産師の活動 事前学修：こども家庭センターと産科医療機関の連携について知見を整理する（30分） 事後学修：こども家庭センターにおける助産師の役割について自身の考えを整理する（30分） 備考：鈴木・常盤・増澤・八巻</p>
6	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践 学修内容：上越市における母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践(1) 事前学修：上越市の地域母子保健活動における助産活動の課題について知見を整理する（30分） 事後学修：上越市の地域母子保健活動における助産師の役割について自身の考えを整理する（30分） 備考：常盤・増澤・八巻</p>
7	<p>授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践 学修内容：上越市における母子の暮らしを見据えた地域母子ケアの実践(2) 事前学修：上越市の地域母子保健活動における地域母子ケアの実践について知見を整理する（30分） 事後学修：上越市の地域母子ケアの課題について自身の考えを整理する（30分） 備考：常盤・増澤・八巻</p>
8	<p>授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（1） 学修内容：オリエンテーション・地域診断（データ収集） 事前学修：上越市の母子保健の概要と地域診断の目的について資料で確認する（30分） 事後学修：講義内容を振り返り、地域診断に必要なデータの種類を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
9	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（2） 学修内容：地区踏査を含む・データ収集 事前学修：地区踏査の目的とデータ収集の視点について事前資料を確認する（30分） 事後学修：地区踏査を通して得られた気づきや情報を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
10	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（3） 学修内容：要約と母子保健分野に関する健康課題の抽出（個別）、産後ケア事業案作成（個別） 事前学修：これまでに収集したデータを見直し、母子保健の課題を意識しておく（30分） 事後学修：抽出した健康課題と産後ケア事業案の内容を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
11	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（4） 学修内容：産後ケア事業案作成 事前学修：これまでに収集したデータを見直し、母子保健の課題を意識しておく（30分） 事後学修：抽出した健康課題と産後ケア事業案の内容を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
12	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（5） 学修内容：母子保健分野の課題解決に向けた健康教育の企画書・指導案作成 事前学修：産後ケア事業の目的や内容について資料を確認する（30分） 事後学修：作成した産後ケア事業案を振り返り、改善点を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
13	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：上越市における地域診断（母子）と課題解決に向けた産後ケア事業の提案・健康教育の企画（6） 学修内容：母子保健分野の課題解決に向けた健康教育の企画書・指導案作成 事前学修：産後ケア事業の目的や内容について資料を確認する（30分） 事後学修：作成した産後ケア事業案を振り返り、改善点を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
14	<p>授業内容 授業形態：発表・討論</p>

15	<p>学修課題：地域診断から産後ケア事業案 学修内容：健康教育の企画書・指導案 事前学修：母子保健分野における健康教育の基本的な考え方を確認する（30分） 事後学修：健康教育の企画書・指導案の構成と内容を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p> <p>授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：地域診断の結果及び産後ケア事業の発表、健康教育の実施・評価 学修内容：地域診断の結果及び産後ケア事業の発表、健康教育の実施・評価 事前学修：前回作成した企画書・指導案を見直しておく（30分） 事後学修：健康教育の企画内容について修正点や工夫点を整理する（30分） 備考：高林・常盤・野口・増澤・八巻</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標の1～6に対して、発表、討議への参加度30%、地域診断発表・産後ケア事業提案・健康教育の企画・実施50%、レポート課題20%を基準として総合的に判断する。
テキスト	我部山キヨ子（編）（2023）：地域母子保健・国際母子保健，医学書院。
参考図書・資料等	宮崎美砂子（編）（2022）：最新公衆衛生看護学2022 各論1・2，日本看護協会出版会。 標美奈子・他（2022）：標準保健師講座 公衆衛生看護学概論，第6版，医学書院。 福井トシ子・井本寛子（2023）：新版 編助産師業務要覧2024年版 IIIアドバンス編，日本看護協会出版会。
受講、課題、資料配布等のルール	授業で使用する資料は事前に参加者に配布すること。
教員からのメッセージ	母子の暮らしを見据えた地域母子ケアに対する資料や情報を収集し、自らが暮らしている地域における地域母子ケアについても考えを深めること。
オフィスアワー	在室時は可能な限り対応する。事前にメール等でアポイントメントをとることが望ましい。